

都市計画学会全国大会 2025
シンポジウム②

日本都市計画学会のビジョンを展望する

75 周年事業特別委員会 部会(タスクフォース)

部会 (タスクフォース) 構成

委員長 渡邊 浩司	専門家 三浦 詩乃◎	中央大学
本会会長	専門家 吉江 俊◎	東京大学
委 員 小泉 秀樹	専門家 外山友里絵◎	名古屋大学
本会副会長	専門家 中島 弘貴◎	東京大学
委 員 秋田 典子	専門家 佐藤 雄紀◎	(株) 三菱地所設計
本会常務理事	専門家 安富 啓◎	(株) 石塚計画デザイン事務所
	専門家 大門 創◎	國學院大學
	専門家 中野 卓◎	(国研) 建築研究所
	専門家 寺田 徹	東京大学
	専門家 新保 奈穂美	東京大学
	専門家 加藤 昌樹	森ビル (株)
	専門家 佐々木 祥	東急不動産 (株)
	専門家 重松 真理子	三菱地所 (株)
	専門家 西館 沙織	(株) 日建設計
	専門家 高濱 康亘◎	国土交通省
	専門家 大谷 剛弘	東京都
	専門家 浅野 正裕	千葉県
	専門家 井桁 由貴◎	東京大学

※氏名の後に◎印が付されている方は、コアメンバー

[コアメンバーの活動(2025年9月～)]

- ・ 現行および過去ビジョン/40・50年学会誌のレビュー
- ・ 都市計画50年・100年記念書籍『都市計画の構造転換』（2021年）の論点レビュー
- ・ 会員アンケート分析、非会員アンケートの設計・分析
- ・ 学会事務局への敬意ヒアリング
- ・ 高校教育支援WG活動成果に関するヒアリング（野原卓先生） など

↓

上記のインプットを踏まえた座談会の実施

↓

シンポジウムの成果を整理してビジョンへの提言

↓

特別委員会：ビジョンの要綱見直し

3

シンポジウムの内容、ビジョンに関するご意見、ご質問

：こちらからご回答ください



4

現行ビジョンに至る討議（2001年,17の提言）

「新しい日本の都市のイメージ」

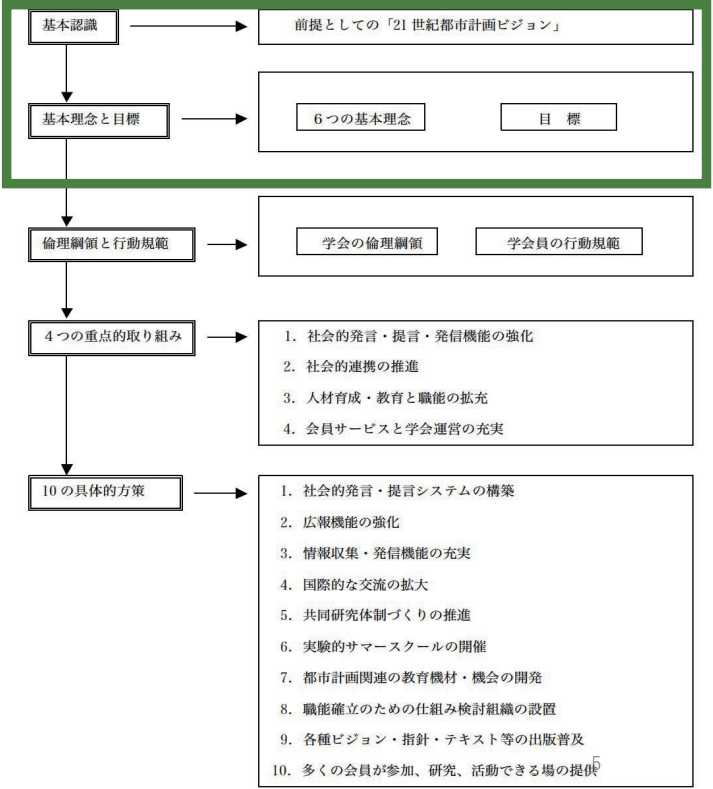
- ・多様な生活スタイルの選択を包容する都市
- ・多重コミュニティが支える市民社会
- ・創造性に支えられた産業発現の場
- ・多様で個性ある豊かな風土が形成される都市社会
- ・共生を実現する自然親和型都市
- ・緩やかに連携し自立する都市
- ・自由と安心を享受できる都市
- ・豊かな「間（ま）」と「時（とき）」が生み出す日本型都市空間

「日本の都市計画ビジョン」

- ・環境都市計画のシステム構築に向けて
- ・負荷の少ないモノと人の循環システム
- ・個を集団に展開する広域調整システム
- ・多様な用途の共存を成り立たせる空間秩序
- ・都市計画における公共性概念の転換にねざした社会的ルールの再構築
- ・地区の発想から始める都市づくり
- ・参加と合意形成を促すわかりやすい計画過程
- ・公民パートナーシップによる都市開発システム
- ・信頼にもとづき市民の価値を代弁する専門家

「日本都市計画学会・21 世紀ビジョン」は、これらの提案と一連の討議をもとに、現在の日本都市計画学会がおかれた状況、また1996 年にとりまとめられた「学会ビジョン」などを土台に、これからの都市計画学会のあり方、基本的な取り組みの方向、具体的な方策等を提言としてとりまとめたものです。

現在のビジョン構成



16:20-16:28 開会ご挨拶・シンポジウム開催の経緯 渡邊 浩司（本会会長/一般財団法人民間都市開発推進機構 常務理事）
 本シンポの狙い、特別委員会コアメンバー紹介 三浦 詩乃（中央大学 准教授）

16:28-16:38 現在から見た1996年特別委員会報告:都市計画・都市計画学・都市計画学会 秋本 福雄（九州大学 名誉教授）

16:38-17:08 テーマ1 都市から都市計画
 都市地域像のグレートリセット-小さな公共性を起点とする建造環境計画の可能性

コーディネーター 中島 弘貴（東京大学 特任講師） パネリスト 秋田 典子（千葉大学 教授）

17:08-17:38 テーマ2 都市計画から都市計画学
 学問分野としての都市計画とは

コーディネーター 三浦 准教授 パネリスト 佐々木 葉（早稲田大学 教授） 大門 創（國學院大学 准教授）

17:38-18:08 テーマ3 都市計画学から都市計画学会
 開かれた都市計画 -専門家とアーバニストの領域、つなぐ学会の役割

コーディネーター 高濱 康亘（国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設安全対策官）
 パネリスト 泉 英明（ハートビートプラン 代表取締役） 吉江 俊（東京大学 講師）

18:08-18:18 提言に向けて：まとめ 小泉 秀樹（本会副会長・東京大学 教授）

18:18-18:20 閉会ご挨拶 渡邊会長